

令和7年度 施政方針の概要

令和7年2月19日、令和7年第2回富里市議会定例会で五十嵐博文市長から施政方針が発表されました。その中から、重点事業や今後の取組をお伝えします。



富里市長 五十嵐 博文

令和7年度は、本市の基本計画の施策を展開する第2次政策実行計画がスタートします。市民起点の行政経営を基本姿勢とし、更なる歳入改革を推し進める一方で、特に健康・福祉・教育分野を中心に政策を進め、市民の皆さまが富里に住んでよかったと実感できるまちづくりに取り組んでまいります。

一般会計予算は、184億5,500万円で、前年度と比べ7.5パーセント増となり過去最大の予算規模になりました。令和7年度は、「結婚から子育てまでの重点支援」・「環境気候変動対策」・「都市計画道路3・4・20号成田七栄線の整備」を3つの重点項目としています。『環境気候変動対策』では、議場において2025年の温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すゼロカーボンシティの実現に向け、取り組んでいくことを宣言しました。

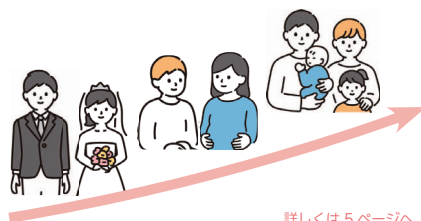
施政方針全文は
市公式ホームページを
ご覧ください。



< 3つの重点項目 >

結婚から子育てまでの重点支援

これから担う若い世代が、結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現することができるよう、新たな支援策を検討するため、令和5年11月と令和6年1月に、市民ニーズの把握を目的としたアンケート調査を実施しました。令和7年度から本格的な第1歩を踏み出し、新たな支援策はホップ・ステップ・ジャンプと、3力年を目途に拡充を図ることを目指しています。その最初の取組として、右記7つの施策を実施します。



詳しくは5ページへ

環境気候変動対策

【ゼロカーボンシティ宣言】

二酸化炭素などの温室効果ガス排出量が増え、地球温暖化は進む一方となっています。

国や県では、今後の脱炭素社会に向けたさまざまな取組が進められています。

本市においても、令和6年度に地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定することに合わせて、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言しました。

※ゼロカーボンとは

温室効果ガスの排出量を減らすとともに、森林による二酸化炭素の吸収量を増やすことで、排出量をプラスマイナスゼロにすること。

ゼロカーボン
シティ宣言文



【気候変動への取組】

「気候変動対策プラットフォームの設置・推進」、「協働・連携による気候変動対策に寄与するグリーンインフラ整備」、「防災・減災につながる脱炭素のまちづくり」を重点プロジェクトとして、位置付け推進します。

また、農業分野では、これまで取り組んできた市独自の高温対策の支援に加え、病害虫防除への支援にも取り組みます。

心ひとつに 未来に向かって飛び立つ 躍動のとみさと

都市計画道路3・4・20号成田七栄線の整備

日吉倉字離山地先から七栄字北新木戸地先までの未整備区間、延長約1.1キロメートルは、令和6年度に全ての用地取得が完了し、令和8年度完成を目指します。本道路沿道地域の土地利用についても、地域にふさわしい魅力あふれる良好な市街地の形成を図ります。



< 主な事業 >

教育・運動環境の向上

市内の全小・中学校の体育館及び社会体育館に空調機を設置し、7月からの稼働を目指します。児童生徒が安心して学校生活を送ることができるとともに、市民が気軽に楽しく運動やスポーツができるよう進めていきます。



犯罪被害者などの支援

犯罪に巻き込まれた方が、一日も早く再び平穏な生活を営むことができるよう、より一層の犯罪被害者支援を進めるため、「富里市犯罪被害者等支援条例」を制定しました。

支援においては、支援金制度を創設し、遺族支援金、重症病支援金、性犯罪被害に対する支援金、転居費用などについて助成を行います。



防災行政無線の更新

防災行政無線は、自然災害や国民保護事案だけではなく、行方不明者の捜索依頼や火災情報など、幅広く市民へ提供するために有効な手段となります。

既存の機器が老朽化してきたことを踏まえ、防災無線機器と全国瞬時警報システム「Jアラート」の機器の更新を計画的に実施し、迅速かつ正確な情報提供体制の構築に努めます。



多文化共生の推進

多文化共生の意識啓発・交流等の推進を図るため、地域の日本語教育体制の拡充とともに、外国人市民と日本人市民の相互による地域参画を促進し、地域での活躍につなげるための環境整備を図ります。また、成田警察署をはじめとした各関係機関と連携し、国籍にかかわらず全ての市民の安全な暮らしを確保しながら、多文化共生のまちづくりを推進します。

